

中国地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性
国道9号 北条道路	自:鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬 至:鳥取県東伯郡琴浦町槻下	H29年度事業化 H30年度工事着手 R2年度用地着手	524 524	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約91% 事業進捗率:約55% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 大谷地区ほか用地買収、 大谷地区ほか用地補償 ・工事推進: 国坂地区ほか改良工、 松神高架橋ほか下部工、 北条高架橋ほか上部工 ・はわいIC~大栄東伯IC L=13.5km(2/4) 令和8年度開通予定 (用地買収・埋蔵文化財調査及び 大規模橋梁工事・軟弱地盤対策工 事等が順調に進捗した場合)	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道29号 津ノ井バイパス (広岡~西大路)	自:鳥取県鳥取市広岡 至:鳥取県鳥取市西大路	R6年度事業化	90 90	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	事業進捗率:0% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道183号 鍵掛峠道路	自:広島県庄原市西 城町高尾 至:鳥取県日野郡日 南町新屋	H17年度事業化 H21年度用地着手 H27年度工事着手	493 493	地元情勢の変化等事業を巡る社 会経済情勢について大きな変化が 見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約53% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 小鳥原地区ほか用地補償 ・工事推進: 三坂地区ほか改良工、 第5橋ほか上部工、 鍵掛峠トンネル掘削工、 鍵掛峠トンネル舗装工	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続き 事業を推進していく。
国道9号 出雲バイパス (神立～中野東)	自:島根県出雲市斐 川町併川 至:島根県出雲市中 野町	R4年度事業化	140 140	地元情勢の変化等事業を巡る社 会経済情勢について大きな変化が 見られない。	事業進捗率:約2% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 中野地区改良工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続き 事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道9号 出雲・湖陵道路	自:島根県出雲市知 井宮町 至:島根県出雲市湖 陵町三部	H20年度事業化 H23年度用地着手 H25年度工事着手	398 398	地元情勢の変化等事業を巡る社 会経済情勢について大きな変化が 見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約89% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 知井宮地区用地補償 ・工事推進: 湖陵地区改良工、 常楽寺地区ほか舗装工、 東神西地区ほか道路附属物設 置工 ・出雲IC～湖陵IC(仮称) L=4.4km(2/4) 令和6年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続き 事業を推進していく。
国道9号 湖陵・多伎道路	自:島根県出雲市湖 陵町三部 至:島根県出雲市多 伎町久村	H24年度事業化 H26年度用地着手 H27年度工事着手	284 284	地元情勢の変化等事業を巡る社 会経済情勢について大きな変化が 見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約85% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 久村地区用地補償 ・工事推進: 二部地区ほか舗装工、 久村地区ほか道路附属物設置 工 ・湖陵IC(仮称)～出雲多伎IC L=4.5km(2/4) 令和6年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続き 事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道9号 大田・静間道路	自:島根県大田市久手町刺鹿 至:島根県大田市静間町	H24年度事業化 H26年度用地着手 H27年度工事着手	360 360	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約99% (令和6年3月末時点) 大田中央・三瓶山IC～大田静間IC L=5.0km(2/4) 令和5年度開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 久手地区ほか用地補償 ・工事推進: 久手地区ほか整備工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道9号 静間・仁摩道路	自:島根県大田市静間町 至:島根県大田市仁摩町大國	H20年度事業化 H23年度用地着手 H25年度工事着手	484 484	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約99% (令和6年3月末時点) 大田静間IC～仁摩・石見銀山IC L=7.9km(2/4) 令和5年度開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 五十猛地区ほか用地補償 ・工事推進: 五十猛地区ほか整備工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道9号 福光・浅利道路	自:島根県大田市温泉津町福光 至:島根県江津市松川町上河戸	H28年度事業化 H30年度用地着手 R2年度工事着手	290 290	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約46% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 本谷東地区ほか用地買収、 松井地区ほか用地補償 ・工事推進: 黒松地区ほか改良工、 1号橋下部工、 2号橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道9号 三隅・益田道路	自:島根県浜田市三隅町 至:島根県益田市遠田町	H24年度事業化 H26年度用地着手 H27年度工事着手	935 935	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約80% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 鎌手地区用地補償 ・工事推進: 土田地区ほか改良工、 新津田川橋ほか上部工、 岡見トンネルほか舗装工、 岡見地区ほか道路付属物設置工 ・石見三隅IC～遠田IC L=15.2km(2/4) 令和7年度開通予定 (大規模橋梁工事等が順調に進捗した場合)	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道9号 益田道路 (久城～高津)	自:島根県益田市久 城町 至:島根県益田市高 津	R5年度事業化	260 260	地元情勢の変化等事業を巡る社 会経済情勢について大きな変化が 見られない。	事業進捗率:約1% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続き 事業を推進していく。
国道54号 三刀屋拡幅	自:島根県雲南市三 刀屋町三刀屋 至:島根県雲南市木 次町里方	H5年度事業化 H10年度用地着手 H11年度工事着手	144 144	地元情勢の変化等事業を巡る社 会経済情勢について大きな変化が 見られない。	用地進捗率:約83% 事業進捗率:約85% (令和6年3月末時点) 雲南市三刀屋町三刀屋 ～雲南市木次町里方 L=1.7km(4/4) 平成27年度までに開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 三刀屋地区用地買収 ・工事推進: 三刀屋地区改良工、 三刀屋地区舗装工	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続き 事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道191号 益田・田万川道路	自:山口県萩市下田万 至:島根県益田市戸田町	R3年度事業化 R5年度用地着手	370 370	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約4% 事業進捗率:約4% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 下田万地区ほか用地買収	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道191号 益田西道路	自:島根県益田市戸田町 至:島根県益田市飯田町	R2年度事業化 R4年度用地着手	330 330	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約28% 事業進捗率:約7% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 喜阿弥地区ほか用地買収	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道2号 岡山倉敷立体 (Ⅰ期)	自:岡山県岡山市南区古新田 至:岡山県都窪郡早島町早島 自:岡山県倉敷市加須山 至:岡山県倉敷市加須山	R4年度事業化	430 430	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 妹尾西地区用地買収着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道2号 玉島・笠岡道路 (Ⅱ期)	自:岡山県浅口市金光町佐方 至:岡山県笠岡市西大島新田	H20年度事業化 H24年度用地着手 H24年度工事着手	636 636	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約62% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 西大島新田地区用地補償 ・工事推進: 浜中地区ほか改良工、 浜中橋ほか上部工、 西大島トンネル舗装工 ・浅口市金光町佐方 ～笠岡市西大島新田 L=9.4km(2/4) 令和7年度開通予定 (大規模橋梁工事・軟弱地盤対策工事等が順調に進捗した場合)	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道2号 笠岡バイパス	自:岡山県笠岡市西 大島新田 至:岡山県笠岡市茂 平	S63年度事業化 H2年度用地着手 H10年度工事着手	543 543	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約79% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 鋼管地区用地補償 ・工事推進: カブト南地区ほか改良工、 寺間高架橋下部工、 新神島橋ほか上部工 ・笠岡市西大島新田 ～笠岡市茂平 L=7.6km(2/4) 令和7年度開通予定 (大規模橋梁工事・軟弱地盤対策工 事等が順調に進捗した場合)	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道53号 津山南道路	自:岡山県久米郡美 咲町打穴中 至:岡山県津山市平 福	H16年度事業化 H19年度用地着手 H26年度工事着手	220 220	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約97% 事業進捗率:約55% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 中筋地区用地買収、 ・工事推進: 平福地区改良工、 皿川第1橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道180号 岡山西バイパス (西長瀬～櫛津)	自:岡山県岡山市北区西長瀬 至:岡山県岡山市北区櫛津	R2年度事業化 R5年度工事着手	330 330	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	事業進捗率:約4% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・工事推進: 北長瀬地区整備工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道180号 岡山環状南道路	自:岡山県岡山市南区藤田 至:岡山県岡山市南区古新田	H21年度事業化 H23年度用地着手 H24年度工事着手	408 408	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約87% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 大福地区用地補償 ・工事推進: 藤田地区改良工、 錦沖2番川橋ほか上部工、 大福地区ほか舗装工、 大福地区ほか道路付属物設置工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道180号 総社・一宮バイパス	自:岡山県岡山市北区櫛津 至:岡山県総社市井尻野	S48年度事業化 H1年度用地着手 H1年度工事着手	580 580	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約49% 事業進捗率:約58% (令和6年3月末時点) 岡山市北区櫛津 ～岡山市北区一宮山崎 L=1.5km(2/4) 平成27年度開通 岡山市北区福崎 ～総社市小寺 L=5.3km(2/4.4/4) 令和4年度までに開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 井尻野地区用地買収、 今岡地区用地補償 ・工事推進: 松尾地区改良工、 新中川橋上下部工 ・岡山市北区一宮山崎 ～岡山市北区今岡 L=0.7km(2/4) 令和7年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道2号 福山道路	自:広島県福山市瀬戸町長和 至:広島県福山市赤坂町赤坂	H13年度事業化 H18年度用地着手 R1年度工事着手	456 456	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約96% 事業進捗率:約54% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 山北地区ほか用地買収、 瀬戸地区ほか用地補償 ・工事推進: 長和地区ほか改良工、 河手高架橋ほか下部工、 地頭分高架橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道2号 西条バイパス (下三永～八本松)	自:広島県東広島市 西条町下三永 至:広島県東広島市 八本松西	R5年度事業化	270 270	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	事業進捗率:約1% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道2号 安芸バイパス	自:広島県東広島市 八本松町宗吉 至:広島県広島市安芸区上瀬野町上瀬野	H7年度事業化 H9年度用地着手 H12年度工事着手	680 680	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約87% (令和6年3月末時点) 東広島市八本松町宗吉 ～広島市安芸区上瀬野町上瀬野 L=7.7km(2/4) 令和4年度開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・工事推進: 熊野川高架橋上部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道2号 東広島バイパス	自:広島県広島市安芸区上瀬野町上瀬野 至:広島県安芸郡海田町南堀川町	S50年度事業化 S57年度用地着手 H5年度工事着手	1,240 1,240	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約91% (令和6年3月末時点) 広島市安芸区上瀬野町上瀬野 ～安芸郡海田町南堀川町 L=9.6km(2/4) 令和4年度までに開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 瀬野西地区用地補償	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道2号 広島南道路	自:広島県安芸郡海田町日の出町 至:広島県広島市西区商工センター四丁目	H1年度事業化 H2年度用地着手 H10年度工事着手	4,124 4,124	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約98% 事業進捗率:約81% (令和6年3月末時点) 一般道路部 L=6.8km(2/4.4/4) 平成25年度までに開通 自動車専用道路部 L=11.3km(2/4.4/4) 平成25年度までに開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 矢野新町地区用地買収 ・工事推進: 明神高架橋下部工、 明神高架橋上部工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道2号 広島南道路 (木材港西～廿日市)	自:広島県廿日市市 木材港南 至:広島県廿日市市 地御前北一丁目	R4年度事業化	400 400	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 串戸地区用地買収着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道2号 西広島バイパス	自:広島県広島市中区平野町 至:広島県廿日市市地御前	S40年度事業化 S42年度用地着手 S42年度工事着手	1,146 1,146	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	事業進捗率:約64% (令和6年3月末時点) 広島市西区観音本町～廿日市市地御前 L=17.1km(4/4) 平成23年度までに開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 舟入地区ほか用地補償 ・工事推進: 舟入地区ほか改良工着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道54号 可部バイパス	自:広島県広島市安佐北区可部町南一丁目 至:広島県安佐北区大林町	S56年度事業化 S58年度用地着手 H2年度工事着手	736 736	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約97% 事業進捗率:約87% (令和6年3月末時点) 広島市安佐北区可部南一丁目 ～広島市安佐北区大林三丁目 L=8.2km(2/4,4/4) 令和2年度までに開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 大林町地区用地買収 ・工事推進: 大林町地区整備工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道185号 安芸津バイパス	自:広島県東広島市安芸津町風早 至:竹原市吉名町八代谷	H11年度事業化 H13年度用地着手 H17年度工事着手	225 225	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約58% (令和6年3月末時点) 東広島市安芸津町三津 ～安芸津町木谷 L=1.5km(2/2) 平成20年度開通	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 風早地区用地補償 ・工事推進: 風早地区改良工、 木谷トンネルほか掘削工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道2号 岩国・大竹道路	自:広島県大竹市小 方一丁目 至:山口県岩国市山 手町	H13年度事業化 H15年度用地着手 H26年度工事着手	1,330 1,330	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約37% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 御園地区ほか用地買収、 小方地区ほか用地補償 ・工事推進: 室の木地区ほか改良工、 小方高架橋ほか下部工、 岩国トンネル掘削工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道2号 富海拡幅	自:山口県周南市戸 田 至:山口県防府市富 海	H23年度事業化 H24年度用地着手 H26年度工事着手	165 165	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約89% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 富海地区ほか用地補償 ・工事推進: 富海地区ほか改良工、 椿峠地区ほか舗装工 ・周南市戸田～防府市富海 L=3.6km(4/4) 令和7年度開通予定	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道2号 台道・鑄銭司拡幅	自: 山口県防府市台道 至: 山口県山口市鑄銭司	R6年度事業化	240 240	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:0% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道188号 藤生長野バイパス	自: 山口県岩国市藤生町 至: 山口県岩国市長野	H31年度事業化 R3年度用地着手	370 370	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約5% 事業進捗率:約6% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 藤生地区ほか用地買収 ・工事推進: 藤生地区ほか整備工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道188号 柳井・平生バイパス	自:山口県柳井市南 町5丁目 至:山口県熊毛郡平 生町宇佐木	R2年度事業化 R4年度用地着手	70 70	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約1% 事業進捗率:約15% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 柳井地区ほか用地買収 柳井地区ほか用地補償 ・工事推進: 柳井地区ほか整備工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道191号 三隅・長門道路	自:山口県長門市深 川湯本 至:山口県長門市三 隅中	R5年度事業化	590 590	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道191号 大井・萩道路	自:山口県萩市椿 至:山口県萩市大井	R3年度事業化 R5年度用地着手	660 660	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約1% 事業進捗率:約2% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査設計推進: 調査設計 ・用地買収推進: 大井地区用地買収	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道491号 俵山・豊田道路	自:山口県下関市豊田町八道 至:山口県長門市俵山小原	H28年度事業化 H30年度用地着手 H31年度工事着手	630 630	地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢について大きな変化が見られない。	用地進捗率:約79% 事業進捗率:約32% (令和6年3月末時点)	・R6年度は以下内容を実施 ・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 大羽山地区ほか用地買収、 大羽山地区ほか用地補償 ・工事推進: 上八道地区ほか改良工、 第2トンネルほか掘削工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。